

# 先輩アスリートからのメッセージ

## 「アメリカの女子プロソフトボール選手になる！」

挑戦する意志があれば道は開ける

**Profile** 星城高等学校卒業後、実業団に入団。テキサスサンダーズでデビュー。  
(WMLS®)で指導者・解説者として活躍中。



村上 真由美 さん  
(星城高等学校第28回生)



星城高等学校を卒業後、オリンピック選手を目指してソフトボールでも当時躍進中のトヨタ自動車に入社。オリンピックの日本代表に選ばれましたが、アトランタへ出発する1週間前に「落選」の報告を受けました。失意のどん底にあった時、アメリカにソフトボール・プロリーグがある事を知りました。会社を退社し、米国のプロテストを受け、英語も話せないまま渡米。ところが、プロリーグが解散してしまいます。それでもプロリーグ再開の可能性に賭けて、再び25歳の時に渡米しました。そこから英語を学びながら5年間、自分がプロになりたいという気持ちを持続させるのは本当に大変でした。考えなければならない事は、自分が何をしたいのか、そして、それをやりたいのか、やりたくないのか、どちらかです。それができるか、できないかはその後の事です。「私はプロになりたい。」その目標だけは決して忘れてはいけなと心に誓っていました。その結果、ソフトボールを通じて、私はプロになりました。私は、周りの人や、両親の支えがあり、星城高等学校の誓いの言葉「1.両親に対し、健康に恵まれ勉強に精進できる喜びを感謝致します。」の言葉が私の基本となっています。いろんなことにチャレンジすれば必ずと道が広がっていくはず。そのきっかけになる大事な高校生活ですので、進路にあたっては、一生懸命考えて決めてください。周りのアドバイスも貴重です。しかし、自分で決めなかったら、必ず言い訳をします。自分の中で言い訳をつくらないようにひとつひとつ自分で頑張してほしいと思います。

